

はじめての **CSS** でblog **自分流** デザイン

他人と似たようなページはもうイヤじゃない?



「blogを始めたけれど、みんなのblogとよく似たデザインだからそろそろデザインを変更したい!」そう思ってblogのデザインを変えようとしてみたけれど、何がなんだかわからなくてあきらめた経験はないだろうか。そういう人に向けて、自分らしいblogデザインにするために今すぐ試せるスタイルシートのテクニックを紹介する。

text & photo: Kaminogoya

Blog of the Yeah! 2003でベストデザイン部門の2位に選ばれた2xUP BONSAIを管理するblogger。現在はサイト名を2xUPとして盆栽離れを期待したが「盆栽」の定着のすごさに驚いている。



2xUP  <http://2xup.boj.jp/>


この記事では、blogツールの代表格であるMovable Type(MT)を対象として、blogのデザイン変更に便利なスタイルシートの技を紹介する。「スタイルシート」は正しくはCSS(Cascading Style Sheets)と言い、HTMLページをどのように表示するのかをデザインする仕組みだ。同じHTMLのblogでもCSSを変えればまったく違うデザインになる。とは言え、スタイルシートはしっかりと解説すると本が数冊書けるくらい複雑なので、ここでは簡単だけど役にたつものに絞って紹介する。CSSの編集に失敗してもblogのデータが壊れることはないので安心して試してほしい。

まずは、MTでスタイルシートを変更するための手順を解説しよう。CSSの書き方をまったく知らない人は、右ページの下側を読んでからテクニックに移ってほしい。

CSSテクニックの解説はMovable Typeの標準のテンプレートとスタイルを前提とする。すでにテンプレートやスタイルに修正を加えている場合は、解説と多少異なる場合があるので注意してほしい。


MTでスタイルシートを変更する手順

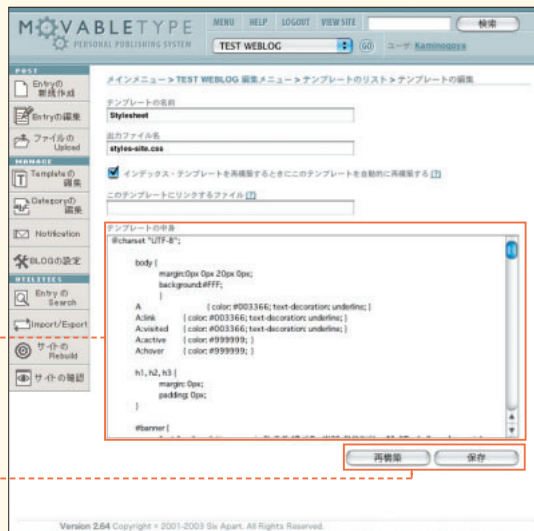
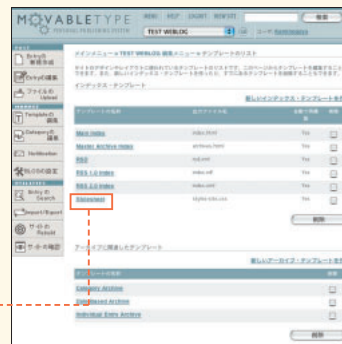
① Movable Typeにログインして、スタイルシートを変更したいblogの管理画面を表示したら、左側にあるサイドメニューから「 テンプレート」をクリックする。日本語化パッチを使っていない場合は「 Templates」だ。

② [テンプレートのリスト]画面が表示される。MTではページテンプレートもスタイルシートテンプレートもすべて「Template」として管理されている。ここで、[インデックス・テンプレート]グループにある「 Stylesheet」テンプレートをクリックする。

③ この画面がMTのスタイルシート変更画面だ。[出力ファイル名]にあるように、この内容はサイト上ではstyles-site.cssというファイルとして出力される。

[テンプレートの中身]がスタイルシートの内容だ。以降で解説する内容は、すべてこのテキストボックスの中を編集して反映させることになる。

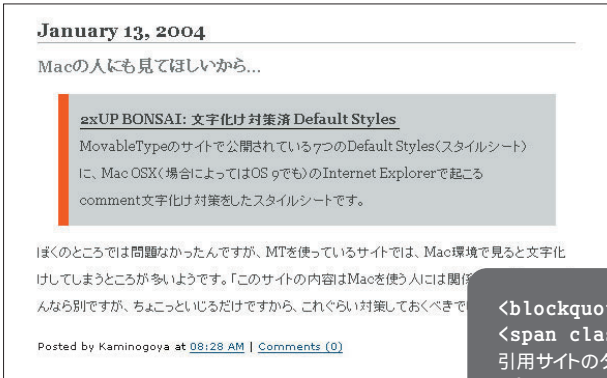
スタイルシートを編集したら、[保存]ボタンをクリックして保存する。保存が完了してか、 再構築 をクリックすれば変更がサイトに反映される。



01

引用部分に囲み罫などの装飾を付けるには borderで罫線の線種や色を指定

難易度  所要時間 **4分**



エントリーを書くときに、引用の部分をこのように書く。

```
<blockquote>
<span class="quotetitle">
引用サイトのタイトルをここに
</span><br />
引用文をここに書く
</blockquote>
```

```
.blogbody blockquote{
background-color: #CCCCCC; /* 引用ボックスの背景色 */
border-left: solid 5px #FF3300; /* ボックスの左辺に
太さ5pxの実線 */
margin-left: 1.5em; /* ボックスの左側の余白 */
margin-right: 1.5em; /* ボックスの右側の余白 */
padding: 0.9em; /* ボックスの内側の余白 */
width: auto; /* 引用ボックスの幅 */
}

.quotetitle{
font-weight: bold; /* タイトル文の太さ */
border-bottom: solid 1px #000000; /* タイトルの下に
1pxの実線 */
}
```

この内容をスタイルシートの最後に追加する。

他のblogやニュースサイトなどから文章を引用してエントリーを書く場合、引用のブロックを装飾で囲むと見やすくなる。

CSSのポイント、ブロックの左側だけに囲み罫線を出すborder-leftで付けたオレンジ色の線だ。backgroundは背景の色指定、それ以外はレイアウトの微調整だ。左側以外の罫線も、border-leftと同様にborder-right(右) border-top(上) border-bottom(下)要素で指定できる。border要素を使えば4辺まとめて指定できる。罫線のデザインは「solid 5px #FF3300」のように3つの値を指定できる。例では「solid」で線種を実線、「5px」で線の太さを5ピクセルに、「#FF3300」で線の色をオレンジ色に指定している。線種に指定できる値には、solid(実線) dotted(点線) dashed(破線) double(二重線) groove(くぼみ線) ridge(盛り上がり線) inset(囲まれた中身がくぼんで見える) outset(囲まれた中身が盛り上がりが見える)があるが、ブラウザや線の太さによって意図しない見え方になる場合があるので注意が必要だ。



CSS マスターへの第一歩① CSS 書式の基本文法を押さえよう

【基本書式】

セレクター{プロパティ: 値;}

例)

```
h1{color: red;
border: dotted 3px red;}
```

『セレクター』の『プロパティ』に『値』を指定することを指示するのがCSSの基本文法だ。1つのセレクターに対してプロパティと値のセットをいくつでも設定できるが、必ず全体を「{ }」で囲む。

プロパティと値の間は必ず「:」(半角コロン)で区切り、値の最後に必ず「;」(半角セミコロン)を付ける。1つのプロパティに値が複数ある場合は半角スペースで区切って最後に「;」を付ける。

『セレクター』は、そのCSS設定がHTMLのどの部分に適用されるかを示すもので、次の3種類を組み合わせて指定できる。

・HTMLのタグ名

タグ名から「<」「>」を除いたものを指定する。
例) <h1>に対するセレクター

```
h1 { ~ : ~; }
```

・クラス名

HTMLタグに「class=」で付けたクラス名の先頭に「.」(半角ピリオド)を付けて指定する。

例) <div class="blog">に対するセレクター

```
div.blog { ~ : ~; }
```

・ID名

HTMLタグに「id=」で付けたID名先頭に「#」(半角シャープ)を付けて指定する。

例) <div id="top">に対するセレクター

```
div#top { ~ : ~; }
```

クラス名やID名が重複していなければ、「.blogbody」「#top」のようにタグ名を省略できる。また、「.(半角カンマ)」で区切れば複数のセレクターを指定できる。

例) blogbodyクラスとh1タグに対するセレクター

```
.blogbody, h1 { ~ : ~; }
```

特定のクラスやIDの中で使われている他のセレクターだけを指定する場合は、親セレクターに半角空白を続けて子セレクターを指定する。

例) blogbodyクラス内にあるbタグに対するセレクター(この設定はblogbodyクラス内以外にあるbタグには影響しない)

```
.blogbody b { ~ : ~; }
```



CSSマスターへの第一歩② ページの構造を知ろう

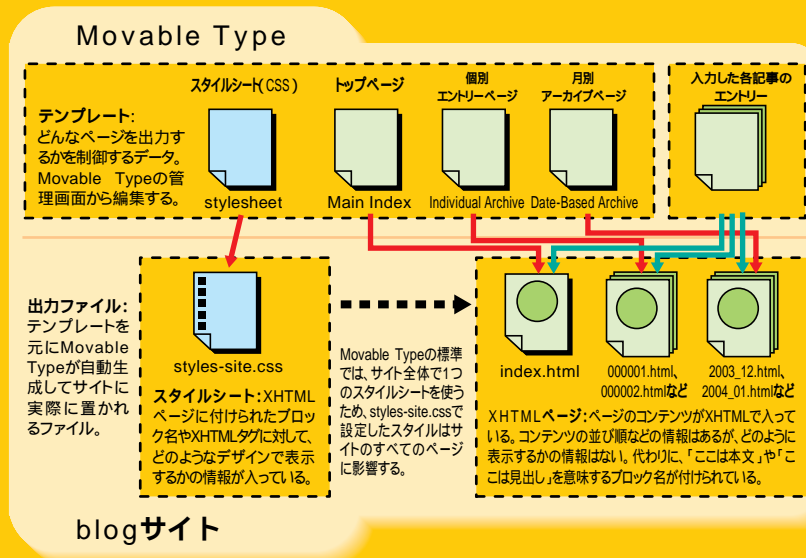


図1 テンプレートとスタイルシートと各ページの関係

通常MTで入力する記事のエントリーは、記事の「中身」だけだ。実際のblogページに出力されるページは、入力されたエントリーにページのテンプレートを適用してMTが出力する(図1)

出力されるページには、「このページのスタイルシートにはこのファイルを使う」という情報が次のようなタグで含まれる。

```
<link rel="stylesheet"
href="styles-site.css"
type="text/css" />
```

ブラウザはこの情報を見て、指定されたCSSのファイルをページのスタイルシートとして使うのだ。MTの標準ではすべてのページで同じstyles-site.cssというCSSファイルが使われる。

また、出力された各ページに含まれるXHTMLには、ページのそれぞれの部分について「メインのblog部分」「サイドバーの部分」というようにブロック分けされて名前が付けられている。さらにブロック内でも日付の見出し、エントリーのタイトル、エントリーの本文、投稿者名など、それぞれの部分に名前が付けられている。

これらの「名前」はMain IndexやIndividual ArchiveなどのMTテンプレートで定義されているもので、ページの出力時に自動的に付けられる。この名前やその中で使われているXHTMLのタグがCSSの「セレクター」となる。つまり、blogのCSSを編集するには、テンプレートでページの構造がどのように定義されているのかを知っておく必要があるのだ。

トップページの構造: Main Index

blogのトップページに対応するテンプレートはMain Indexだ。Main Indexが出力するページの構造は図2のようになっている。

デザインを変更したい場合は、図2を参考に、変更したい部分の「名前」を見つけて、スタイルシート内でそのセレクター名のスタイルを設定している部分を変更すればいいわけだ。つまり、エントリーのタイトルを変更したい場合はCSSの中で「h3.title」の記述を探してそこを変更するのだ(実際にはCSSに書かれているセレクターは「.title」なので注意)

「h2.date」は日付の見出しで、ページに表示される日数分が繰り返して現れる。また、「h3.title(エントリーのタイトル)」、「.blogbody(エントリーの本文)」、「.extended(エントリーの追記)」、「.posted(投稿者名、投稿時間、コメント、トラックバック)」も表示されるエントリーの数だけ繰り返して出てくる。



図2 トップページの構造



図3 アーカイブページの構造



CSS マスターへの第一歩③ CSS 書式の基本文法を押さえよう

MTのテンプレートでも「.blog」のようなクラスのセレクターと「#banner」のようなIDのセレクターが使われているのがわかるだろう。IDもクラスもCSSを書くときには同じように使えるが、本来の意味はまったく違う。

わかりやすく言うと、クラスは「要素の分類」を、IDは「要素の固有名」を表す。つまり、クラスのほうがより一般的な名前を示すもので、IDはさらに限定

的な個別の名前を示すのだ。たとえて言うならば、IDとしては「インターネットマガジン」や「DOS/V Power Report」などを使い、クラスとしては「雑誌」を使うのだ。

また、クラスとIDではページ内で使える回数が違う。クラスは1つのページの中で何度も使えるが、IDは1文書内に複数あつてはいけないのだ。図2の「.sidetitle」と「.side」のように、クラスは「分類」を

アーカイブページの構造

アーカイブのページ(テンプレート)は「アーカイブに関連したテンプレート」のグループのもの。メインインデックスとは表示が若干異なる。

ここでは、エントリーごとに作られる Individual Entry Archive(いわゆるPermalinkページ)を例にして見てみる。Category ArchiveとDate-Based Archiveは、下のコメントを抜いた形とほぼ同じで、「.blogbody」内の要素がアーカイブに含まれるエントリーの数だけ繰り返して出てくる。

『画面真っ白現象』の謎を解く

MT標準のテンプレートを利用していると、個別の記事ページやコメント入力ウィンドウでページの内容が真っ白になってしまう現象が起きることがある。どれだけスタイルシートを変えても直らないので困る人も多いようだ。



IE 6のCSS解釈のバグが原因でこの現象が起きるようだ。具体的には、背景色が指定されている要素内に、ブロックの配置を制御するfloatプロパティを指定した要素があると、文字が隠れて見えなくなってしまうというものだ [URL 01](#)。

MT標準の Individual Entry Archive(個別の記事ページ)と Comment Listing Template(コメントウインドウ)にはテンプレート内で直接スタイルを指定している部分があり、そこに問題がある。原因がわかれば解決するのは簡単だ。上記の2つのテンプレートでスタイルを指定している部分を削除すればいいのだ。具体的にどこを修正するかは誌面の都合上すべて紹介できないが、詳しく解説しているサイト [URL 02](#) があるのでそちらを参照してほしい。

CSSバグリスト

[URL 01](http://members.at.infoseek.co.jp/cssbug/detail/winie/b032.html) http://members.at.infoseek.co.jp/cssbug/detail/winie/b032.html

TRIGGERS

[URL 02](http://blog.sfc.keio.ac.jp/blog/archives/000021.html) http://blog.sfc.keio.ac.jp/blog/archives/000021.html

表示すものなので「サイドブロックの見出し」や「サイドブロックの中身」が何度も登場しても問題はないが、「#links」や「#content」のような「ページのサイドバー」や「ページのコンテンツ」はページ内に何度も登場するのはおかしいのだ。IDがページ内に複数ある場合もブラウザでは一応表示されるが、本来は正しくはないのだ。

ページを3段組みにするには

float、width、margin-left、margin-rightの組み合わせ

難易度 所要時間 **30分**



既存のスタイルシートを修正

この内容をスタイルシートの最後に追加

```
#content {
margin-left: 225px; /* 左空き */
margin-right: 195px; /* 右空き */
border: 1px solid #000000;
padding: 5px; /* 枠線と中身の間のスペース */
}

#links {
float: left; /* 左に浮遊 */
width: 210px; /* 幅を指定 */
margin-right: 5px; /* 右空き */
margin: 0px;
border: 1px solid #000000;
padding: 5px;
}
```

```
#linksright {
float: right; /* 右に浮遊 */
width: 180px; /* 幅を指定 */
margin-left: 5px; /* 左空き */
margin: 0px;
border: 1px solid #000000;
padding: 5px;
}

#footer {
clear: both; /* 回り込み解除 */
margin-top: 5px; /* 上空き */
border: 1px solid #000000;
padding: 5px;
}
```

CSSを使って段組みにするにはいくつか方法がある。今回はfloatを使って段組みにする方法を紹介する。ウィンドウ幅に合わせて中央ボックスの幅が変化する。左サイドバーの幅はカレンダーがすべて入るように210ピクセル、右サイドバーの幅は180ピクセルだ。

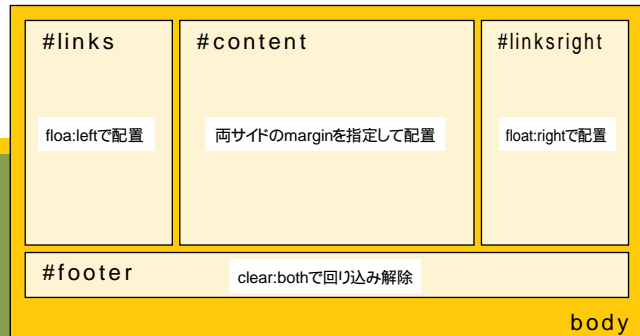
ポイントとなるのはfloatプロパティだ。floatを指定したブロックは浮遊ボックスとなり、値にleftと指定すると左端に、rightと指定すると右端に配置される。floatを指定した要素には幅(width)を指定する必要があることにも注意してほしい。

floatを指定されたブロックの後に続く要素がその浮遊ボックスを避けるように回り込んで配置されるため、3段組みにするにはスタイルシートだけでなくMain Indexなどのテンプレートも変更する必要がある。手順のように、テンプレート内で出現する順番を「左ブロック」「右ブロック」「中央ブロック」「フッター」のように変える。

標準ではcontentの次にlinksがあるので、<div id="links">から対応する</div>までを<div id="content">の前に移動する。<div>と</div>の対応に注意しながら作業しよう。次に、移動したlinksとcontentの間に新しく<div id="linksright"> ~ </div>を追加して、右ブロックの内容をそこに入れる。そして<div id="content">に対応する</div>の後に<div id="footer"> ~ </div>を追加して、フッターの内容をそこに入れる。

Mai Index テンプレートにdivを追加して順番を修正

```
<div id="links">左サイドのdivをcontentより前に場所変更</div>
<div id="linksright">左サイドのdivの次に右サイドを追加</div>
<div id="content">中央はそのまま</div>
<div id="footer">フッターのdivを追加</div>
```





CSS マスターへの第一歩④ 役立つプロパティを知ろう

blogのデザインでは、文字やブロックのデザインが大切だ。知っておくと便利なCSSのプロパティを紹介しよう。

フォント関連

font-family(114 ページで詳しく紹介)
font-size(113 ページで詳しく紹介)
font-weight
値: normal(普通) bold(太字)
フォントの太さを指定する。
font-style
値: normal(普通) italic(イタリック体) oblique(斜体)
フォントのスタイルを指定する。
color
値: 「#FF0000」などのRGB数値や「red」「blue」などの定義名で指定
フォントの色を指定する。

font-weightやfont-styleにnormal以外の値を指定すると、日本語フォントでは正しく表示されないことがあるので注意が必要だ。

テキスト関連

line-height(113 ページで詳しく紹介)
text-indent
値: 1em(1文字分) 15px(15ピクセル) など
段落の頭の字下げ指定。
text-align
値: left(左) center(センタ - 揃え) right(右) justify(両端揃え)
文字揃えを指定。divやh1～h6などのブロック要素には適用されるが、spanなどの範囲要素には適用されない。justifyは和文では適用されない。
text-decoration
値: underline(下線) overline(上線) line-through(取り消し線)
テキストに下線などの装飾を加える。
text-transform
値: capitalize(先頭のみ大文字) uppercase(すべて大文字) lowercase(すべて小文字)
要素内の英字の大文字 / 小文字を変換。

リンク関連

文字のリンクには前述のフォントやテキスト関連の宣言を設定でき、リンクを表すAセクターに「:link」「:visited」を付けると、未訪問のリンクと訪問済みのリンクを分けて設定できる。また、「:hover」「:active」を付けるとマウスアクションでリンク部分の表示を変えられる。

次の例は、リンクの下線はマウスが上に来たときだけ表示して、マウスの状態とリンク訪問済みかどうかによってリンクの色を変更する。

```
例)
/* リンクの基本設定 */
A {text-decoration: none;
background: none;}

/* 未訪問リンクの設定 */
A:link {color: #FF0000;}

/* リンクにマウスが乗った場合 */
A:link:hover {color: #FF3300;
text-decoration: underline;}

/* リンクをクリックした場合 */
A:link:active {color: #999999;
text-decoration: none;}

/* 訪問済みリンクの設定 */
A:visited {color: #66CC00;}
A:visited:hover {
color: #FF3300;
text-decoration: underline;}
A:visited:active {
color: #999999;}
```

応用例としては、サイト外のページへのリンクは「」のように書いておいて、「A.out」セクターの色を設定するCSSを追加すれば、外部へのリンクの色をサイト内のリンクと分けて表示できる。もちろん、「.side A:link」のようにセクターごとにリンクのスタイルを指定することも可能だ。

ボックス関連

margin
要素を囲むボックスの周囲の空白を指定する。
padding
要素を囲むボックスと内側にあるコンテンツの間の空白を指定する。

marginとpaddingは、値を4つ指定すれば1行で4方向の空きをまとめて指定できる(前から順に上、右、下、左の空き)

例) margin: 0px 5px 0px 5px;

また、「margin-top」「padding-left」のように-top、-bottom、-left、-rightと記述することでそれぞれ上下左右の空白を別々に指定できる。

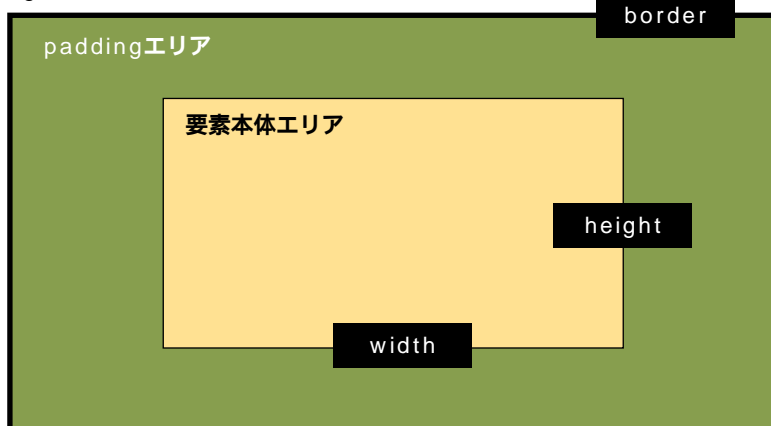
例) margin-right: 10px;
padding-bottom: 20px;

width
要素の幅を指定する。
height
要素の高さを指定する。

widthやheightはボックスのpaddingやborderを含んだ幅や高さではないことに注意してほしい(図を参照)。しかし、古いブラウザにはpaddingやborderを含んだ幅と解釈するものもある。またheightに関しては、中の要素が指定した高さに収まらない場合、ウィンドウズのIE 6以外でははみだしたり、次の要素に重なって表示されたりすることがある。

ボックスの構造と対応するプロパティ

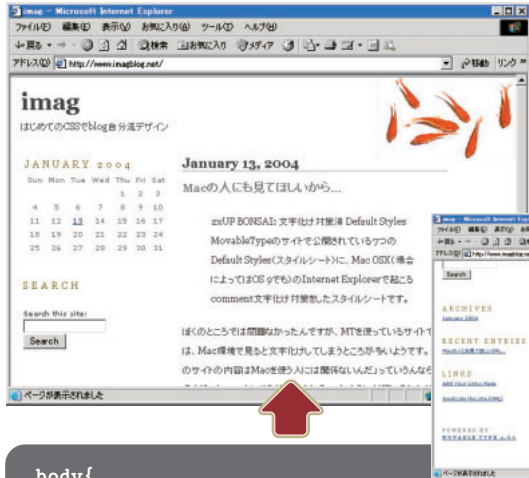
marginエリア



03

スクロールしても動かない背景画像を付けるには background-imageをbackground-attachment: fixedで使う

難易度  所要時間 **3分**



画面をスクロールしても背景画像がウィンドウの右上に固定されたまま表示される。

```
body{
background-image:
url("http://www.example.com/body_back.png");
background-position: right top;
background-repeat: no-repeat;
background-attachment: fixed;
}
```

背景に使う画像のURLは自分のサイトの適切なものに変更しよう。

ページ全体に背景画像を付ける場合は、bodyセクターにbackground-imageプロパティを指定する。値には画像ファイルの場所をurl(" ~ ")のように指定できる。例ではサイトの(ルートディレクトリ)にあるbody_back.pngというファイルを指定している。

background-attachmentを使うと、画面をスクロールしても背景画像が動かないようにできる。ここでは、background-position:right topとbackground-repeat:no-repeatでページの右上に画像を1つだけ表示するように指定している。

ただし、#content、.blog、.blogbodyなどの、bodyよりも手前にあるブロックのbackgroundプロパティで背景色を指定している場合は、その行を削除して背景色をなくしておかないとその部分だけ背景色で画像が隠れてしまうので注意しよう。

CSSマスターへの第一歩⑤ 背景を美しくデザインしよう

ページやブロックの背景に色を付けたり画像を配置したりすると、blogのイメージを大きく変えられる。ただし、指定した色や画像が背景に付くのは、指定要素のpaddingエリアと、要素本体エリアだ。

background-color : 背景色
ブロックに背景色を付ける。たとえば次のようにするとサイドバーの背景色を黒にできる。

```
.sidetitle{background-color:#000000;}
```

background-image : 背景画像
次のように指定すると、bodyブロックに背景画像を表示できる。背景に使う画像ファイルは「http://」から始まるURL、画像ファイルの絶対パス、CSSファイルからの相対パスなどを指定できる。

```
body{background-image:
url("archives/site/body_back.png");}
```

要素の背景画像に色の濃い画像を使い、文字の色を淡い色にしている場合、背景色に濃い色を指定しておこう。そうしないと、背景画像が表示されなかった場合にフォントが読みづらくなってしまふ。

background-repeat : 画像の繰り返し
background-repeatを使うと背景に指定した画像を繰り返し並べることができる。値には次のものが指定できる。background-repeatを指定しない場合は自動的に全体に繰り返される。

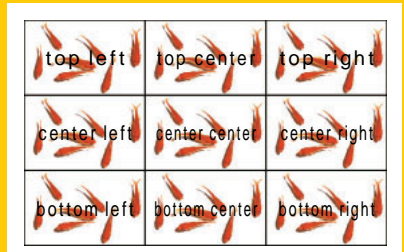
- no-repeat (繰り返ししない)
- repeat (全体に繰り返す)
- repeat-y (縦方向にだけ繰り返す)
- repeat-x (横方向にだけ繰り返す)

background-position : 画像の位置
標準では、画像の表示や繰り返しの原点が左上に設定される。background-positionを使うことで、画像を表示する位置や、繰り返しを開始する原点を指定できる。

たとえば、画像を繰り返さずにウィンドウの右下に表示する場合は次のように指定する。

```
body{
background-image:
url("archives/body_back.png");
background-repeat:
no-repeat;
background-position:
right bottom;
}
```

上下の位置をtop、center、bottomから1つ、左右の位置をleft、center、rightから1つ選んで「top left」のように組み合わせで指定する(下図)。指定しないとcenterが使われるので、rightだけ指定すると「center right」と同じ扱いになる。パーセンテージやピクセルの数値でも指定できる。



パーセンテージやピクセルなどで指定する場合は「background-position: 左からの位置 上からの位置」の順で、半角スペースで区切って次のように指定する。パーセンテージとピクセル、キーワードとパーセンテージなどを組み合わせで指定することもできる。

```
background-position: 20% 40%;
background-position: 100px 200px;
```

サイドバーの文字や行間を調整するには font-sizeとline-heightの指定

難易度  所要時間 **12分**



既存のスタイルを修正

```
.sidetitle{
  font-size:1em;
  font-weight:bold;
  letter-spacing:0em;
  ...これ以外は標準のまま...
}
.side{
  font-size:0.8em;
  line-height:1.6em;
  ...これ以外は標準のまま...
}
```

MT標準のサイドバーのスタイルでは、「Archives」などの見出し部分は文字間が空いているため、「アーカイブ」「検索」のように日本語を使うと間延びして見える。字間の空きをなくして、代わりに文字を太字にして見出しらしくしてみよう。

また、サイドバーの中身のアーカイブ一覧も行間が詰まって見えるので、少しだけ行間を空けてみよう。そして、サイドバー全体の文字サイズが小さいため、少しだけ大きくしてみよう。

CSSマスターへの第一歩⑥

文字や行間の正しいサイズ指定をしよう

文字サイズを指定するにはfont-sizeプロパティに、行間の空きを指定するにはline-heightプロパティに、文字間の空きを指定するにはletter-spacingプロパティに、それぞれ「大きさ」を指定する。

サイズの指定には、サイズを固定の絶対サイズ指定と、親要素に対する相対比率を使う相対サイズ指定がある。

【絶対サイズ指定】

サイズ名(x-small、x-small、small、medium、large、x-large、xx-large)
ポイント数、ピクセル数、mmなどの単位(9pt、1cm、18mm、12pxなど)¹

【相対サイズ指定】

サイズ名(larger、smaller)
パーセント(95%、120%など)
em/exサイズ(2em、4exなど)

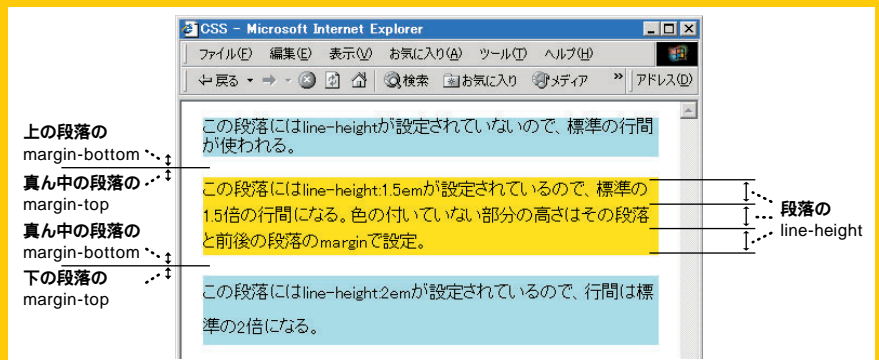
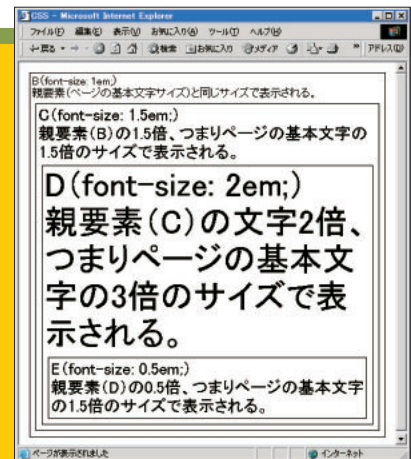
「em」は大文字の「M」の高さを基準とした1文字の大きさで、1emが通常の文字サイズとなる。「ex」は小文字の「x」の高さを基準にした単位で、2exが通常の文字サイズとほぼ等しくなる。

高解像度の画面で見たり視力が弱かったりするユーザーは、ブラウザの設定を変えて大きな文字で表示することがあるが、絶対サイズで指定さ

れているブラウザによってはユーザーが文字の表示サイズを変えられない。MTの標準では「large」や「small」といったキーワードで絶対指定されているが、特別にデザインにこだわる部分以外は、基本的にフォントサイズは「em」「%」「larger」などの相対指定にして、本文は標準の文字サイズを使うように指定することをおすすめする。

さまざまな状態でフォントサイズを指定して、親要素のフォントサイズ指定がどのように影響するのかを見てみよう(右図)。

行間の指定で注意してほしいのは、<p> ~ </p>で指定される段落と段落の間はline-heightだけではなく、その段落と前後の段落のmarginの影響を受けることだ(下図)。



1 ピクセル数による指定は、表示される大きさが解像度によって変わるために相対値指定だとも言われるが、ピクセル数で絶対値を指定するため、ここでは絶対サイズ指定とした。

エントリーのタイトルに違うフォントを使うには font-familyでフォントを設定する

難易度



所要時間

17分

January 15, 2004

はじめてのCSSでblog自分流デザイン

ちょっとずつちょっとずつデザインを変えていくのがblogの楽しみの1つ。



既存のスタイルを修正

```
.title {
  font-family: "HiraKakuStd-W8",
  Impact, "MS UI Gothic", sans-serif;
  font-size: 2em;
  font-weight: bold;
  color: #666;
}
```

力強い書体のタイトルにしてみました。サイトを訪れる人がそのフォントを使っているとは限らないので、ある程度一般的なフォントを選ぶ必要がある。

使用できるキーワード(書体名の一般指定)

sans-serif(ゴシック)、serif(明朝)、cursive(筆記)、
fantasy(装飾)、monospace(等幅)

和文書体名 + サンプル出力(ウィンドウズ)

- MS Pゴシック
盆栽ウェブログでCSSの1、2、3!?
- MS UI Gothic
盆栽ウェブログでCSSの1、2、3!?
- MS ゴシック
盆栽ウェブログでCSSの1、2、3!?
- MS P明朝
盆栽ウェブログでCSSの1、2、3!?
- MS 明朝
盆栽ウェブログでCSSの1、2、3!?

和文書体名 + サンプル出力(Mac OS X)

- ヒラギノ角ゴ Pro W3/HiraKakuPro-W3
盆栽ウェブログでCSSの1、2、3!?
- ヒラギノ角ゴ Pro W6/HiraKakuPro-W6
盆栽ウェブログでCSSの1、2、3!?
- ヒラギノ角ゴ Std W8/HiraKakuStd-W8
盆栽ウェブログでCSSの1、2、3!?
- ヒラギノ丸ゴ Pro W4/HiraMaruPro-W4
盆栽ウェブログでCSSの1、2、3!?
- ヒラギノ明朝 Pro W3/HiraMinPro-W3
盆栽ウェブログでCSSの1、2、3!?
- ヒラギノ明朝 Pro W6/HiraMinPro-W6
盆栽ウェブログでCSSの1、2、3!?

和文書体名 + サンプル出力(Mac)

- Osaka
盆栽ウェブログでCSSの1、2、3!?
- 中ゴシック体
盆栽ウェブログでCSSの1、2、3!?
- 平成角ゴシック
盆栽ウェブログでCSSの1、2、3!?
- 平成明朝
盆栽ウェブログでCSSの1、2、3!?
- Osaka-等幅
盆栽ウェブログでCSSの1、2、3!?

欧文書体名によるサンプル出力

- Arial
- **Arial Black**
- Verdana
- Trebuchet MS
- Times New Roman
- Courier New
- Georgia
- **Impact**
- Comic Sans MS

記事タイトルのセレクターは「.title」だ。CSSでは、表示する書体(フォント)はfont-familyプロパティで指定する。例では日本語に「ヒラギノ角ゴ Std W8」を、英語に「Impact」を指定した。

font-familyに指定する書体名は全角/半角、大文字/小文字、空白の有無まで正しく書く必要がある。名前に半角スペースを含むものは、例の「MS UI Gothic」のように名前を引用符で囲む。複数の書体を「,(半角カンマ)」で区切って指定すると、前に書かれた書体から優先して使われる。指定されたフォントがウェブサイトを訪れるユーザーのシステムにない場合には、書かれている書体が順番に使われる。

書体名を並べた最後には、書体の種類を指定する一般名の『キーワード』を必ず指定する。どの書体もなかった場合にも大きく印象が変わることを避けられる。

書体名で指定する場合は、図に示した書体名を使うと、意図したとおりに表示されることが多いだろう。英数字は半角で、スペースやハイフンは半角で、和文は全角で記述するのが基本だ。ただし、「MS Pゴシック/明朝」や「MSゴシック/明朝」の「MS」と「P」だけは全角で記述する(「MS UI Gothic」の「MS」は半角だ)。ヒラギノの書体名は日本語でもアルファベットでもどちらでも指定できるが、アルファベットで指定しておくほうが問題が少ないようだ。

欧文フォントはIEならば使えるはずだが、GeorgiaとTrebuchet MSは古い環境では表示されないことがある。

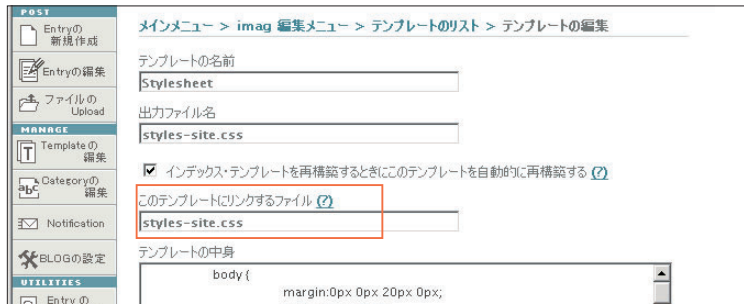
Mac版IEでは、<div class="blogbody" lang="en">のように「lang="en"」を加えないと欧文フォントで表示されない。

blogの文字コードが「UTF-8」の場合、日本語フォントを先に記述しないとOperaで文字化け(意図しないフォントで表示される)が発生することがある。

06

スタイルシートの頻繁な修正を楽にするには Movable Typeの設定変更TIP

難易度 所要時間 **1分**



参考リンク: [URL http://artifact-jp.com/mt/archives/200304/styleseet_rebuild.html](http://artifact-jp.com/mt/archives/200304/styleseet_rebuild.html)

CSSを頻繁に修正するようになると、MTでいちいち「保存」してから「再構築」をクリックするのは面倒だ。図のように、スタイルシートの編集画面で、「このテンプレートにリンクするファイル」にCSSのファイル名を書いておくと、「保存」するだけで修正が反映される。スタイルシートでMTタグを使っていないならばぜひおすすすめしたいテクニックだ。



2xUP 新作の3段組みスタイルシート公開!

この記事執筆したKaminogoya氏によるMT用の新作テンプレート&スタイルシートがインターネットマガジンのウェブサイトから入手できる。他人と違ったblogにしたい人は是非ダウンロードして試してみたい。

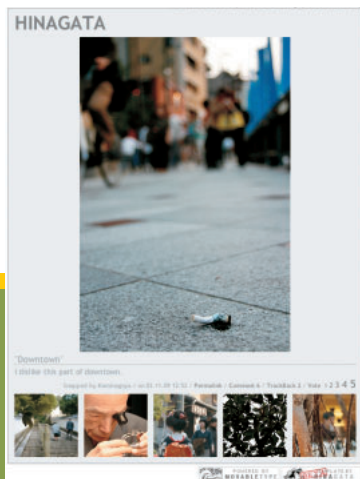
URL <http://internet.impress.co.jp/im/200403mt/>



HINAGATA 3column この記事で紹介した3段組みにする方法や、あれこれを使ってデザインしたテンプレートだ。これを元にオリジナリティー溢れるデザインをしてみよう!



HINAGATA 2column サイドバーを右側に配置した2段組みのテンプレートだ。



HINAGATA Photo MTの機能をうまく使って更新しやすいと管理のしやすさに気を使ったPhoto Blog用のテンプレートだ。

CSSお役立ちリンク集

The Web Kanzaki : ごく簡単なHTMLの説明

URL <http://www.kanzaki.com/docs/htmlinfo.html>

「簡単で正確なHTMLの説明」にあるスタイルシートの解説がわかりやすい。

HotWired Japan : Webmonkey : Reference : スタイルシートガイド スタイルシートをもっと学ぼう!

URL http://www.hotwired.com.jp/webmonkey/reference/styleSheet_guide/

webgraphics 海外のサイトだが、CSSで参考になるディスカッションが数多く交わされている。

URL <http://web-graphics.com/>

216 Web Safe Color Chart ウェブで問題なく使える色一覧。ここからお気に入りの色を見つけよう。

URL http://www.web-source.net/216_color_chart.htm

ColorMatch Remix 背景などの色を指定するときに便利!好きな色と合う組み合わせを調べて適切なカラーバランスでカッコ良くデザインしよう!

URL <http://color.twysted.net/>

2xUP CSS : 文字化け対策済みMovableType Default Styles MTの標準スタイルシート7種類に関して、Mac OS XやOS 9のIEで起こるコメント入力欄での文字化け対策をしたもの。

URL <http://2xup.boj.jp/css/defaultstyles/>



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp